

資料請求誠にありがとうございます。

資料を送らせて頂きます。

私達は、自分のことのようにお客様を考えるが、モットーでございます。

色々な面でサポートしていきたいと考えていますので、是非よろしく御願い致します。

私事の話をしさせて頂きます。私は神奈川県の平凡な公立高校出身です。その高校でサッカー部に在籍し、サッカーに精進していましたが、サッカー部に入る人間は本気でサッカーに真面目に向き合い少しでもサッカーを解りたいと思う人間は残念な事に居ませんでした。本気でサッカーをしたい人間は私立の名門高校に入学します。私の高校は『中学もサッカーしていたから高校でもサッカーをやるか！』位の人間の集まりでした。もちろん監督も、サッカーをかじった事のある程度の教師が、サッカー部の顧問になるわけです。もちろんモチベーションが低く、練習もそれなりでした。それにサッカーを教えてくれる人もいないのですから、サッカーが強い高校でないことは明らかでしょう。しかし高校2年生の時に転機がありました。それは、リーガーを目指していた友人が私の高校にいました。彼はクラブチームに在籍し、高校のサッカー部には在籍していませんでしたが、監督とうまくいかず、クラブチームを止め、高校のサッカー部に入部してきました。彼は口で言うのではなく、態度で私達にサッカーを教えてくれました。彼がサッカー部に入ってきた初日は私も度肝を抜かれました。私自身川崎市選抜に選ばれた事があり、多少サッカーには自信があったのですが、彼のボールを取ることが出来ませんでした。2人で囲んでもあっさりと抜かれてしまったのです。その日から彼のプレーを必死で盗みましたが、私のサッカー人生を根底からひっくり返されてしまったので、悔しい思いでいっぱいでした。

彼は小さい時からクラブチームの人間に技術を学び、サッカーを熟知した人間からサッカーを教わっていたのです。環境とは物凄いものだとそのとき痛感しました。

彼が入ってから私達のレベルは少しずつ上がっていきました。自分でもサッカーが上達したと実感したのは、彼のボールを奪った時です。彼の技術が落ちたのではありません。私の技術が上がったのです。彼はすごい事に一人でチーム全体のレベルまで上げてしまったのです。最終的には川崎市の大会では準決勝で桐光学園に破れ3位。県大会ではベスト32位でしたが、弱小チームを桐光学園と戦えるまでに成長させた彼は尊敬です。高いレベルの中でプレーをすることは自分をそのレベルまで引き上げてくれるものだと感じました。そして彼は監督まで意識改革をさせ、今では我が母校は川崎市では公立高校では敵無し、神奈川県でも上位に食い込めるようなサッカー部になっているのです。彼のような人間とサッカーをし、サッカーを熟知した人間に教えてもらえば、劇的に自分のサッカー観が換わることは言うまでもありません。

私の友人と比べ物にならないほどのレベルのブラジル人プロプレイヤーと一緒にサッカーをする事は、皆様の人生の中でもかけがえの無いものになるでしょう。現在はリーグのチームでも、ブラジルのプロチームと提携し、リーガーをブラジルのチームで武者修行させる時代です。リーガーと同じレベルに立ち、その環境を自分自身で味わい、更に自分自身を磨き精進して欲しいと思います。私もそうですが、高校までは本気でサッカーに取り組んでいたものの、時間と場所が無くなり、卒業後は趣味になってしまう人が大半です。私はそれがとても寂しいと思います。夢を夢で終わらせないように是非一步踏み出して下さい。

又、私共は長期でサッカー留学を希望する人を少しでもサポートする為に『ブラジルの食がどうしても合わない』『こんなはずじゃなかった』という方に返金制度を採っています。これにより長期留学もぐっと身近なものになってきました。

ブラジルは、いかなる場合でもビザを必要とする国です。したがって、申し込み確認後サッカー留学が6ヶ月未満の場合は約三週間、6ヶ月以上の場合は約三ヶ月(パスポートを所持している状態)最低でも掛かるとお考え下さい。

是非しっかりとお考えになり、自分の夢に向かって歩き出してください。もし私達と一緒に夢へチャレンジしたいと言ってくださった時は、メール又は御電話頂きたいと思います。私達も全力でサポートしていきたいと考えております。

長々と私事を綴って申し訳ありませんでした。私の体験談が、皆様の参考になればと思っています。

ポンチノーヴァ

大田 孝司